

教育研究研修センターだより



通巻 No.277

令和4年5月16日（月）発行

令和4年度を迎えるにあたり

第1回校長会（令和4年4月15日開催）

菅野和良 教育長挨拶

令和3年度末の人事異動によりまして、小学校15名、中学校8名、計23名の新しい校長先生をこの会にお迎えいたしました。心よりお喜び申し上げます。これまでの経験、高い識見を生かし、それぞれの学校で最高責任者として、思う存分お力を発揮していただければと思っております。また、既に校長としてご活躍いただいている先生方には、新たにお迎えした先生方とともに、岡山市学校教育の向上、発展のために一致協力し、ご尽力賜りたいと存じます。

また、本年度も4月1日に新規採用者159名（小学校93名、中学校54名、養護教諭4名、事務職員5名、栄養教諭1名、給食調理員1名、用務員1名、幼稚園は除く）に各校で辞令が交付されました。既に各校で新鮮な風を送り込んでくれているものと思います。

若手教職員の育成と経験豊かな教職員の指導技術等の伝承が急務となっております。校内で先輩が若手に「技と思いの伝達」が行えるようなOJTを推進し、先輩と若手がともに学び合える職場となるよう、部下を輝かせる校長になっていただきたいと期待いたします。

併せて、新採用の方々や異動により新しく着任された方々が、地域や保護者の皆様に早く認知されるよう、工夫していただきたいと思っております。

本日は、年度初めにあたっての私の思いや取り組んでいただきたいことについて、5点お話ししたいと思います。

1 教育の理念について

岡山市では、「岡山市市民協働による自立する子どもの育成を推進する条例（岡山っ子育成条例）」の理念の実現に向け、様々な取組を行ってきました。これからも、「中学校区を単位とした学校園一貫教育（岡山型一貫教育）」という縦のつながりと「岡山市地域協働学校」という横のつながりが織りなす教育によって、子どもたちが自立に向かう力を育てていきたいと考えています。

ここでいう「自立」とは、「岡山市の子どもがこれからの時代を生きていくために必要な資質・能力」のことであり、令和3年度から令和7年度までの5年間は、第2期教育大綱で目指す「自らの個性を磨き、選択と挑戦を繰り返すこと」と捉え、育成を目指すものであります。

学校では、子どもたちが自分の良さを発揮して、様々な判断の場面で自分にとって最適な選択をし、たとえ困難なことがあっても、粘り強く挑戦を繰り返すことができるよう、授業や様々な教育活動の中で子どもを育てていってください。

そのためには、「活用力」「表現力」「向上心」「社会性」「人権尊重の精神」の5つの力を育てることが必要ですが、その基盤としての人権教育をさらに充実していきましょう。

校長先生方には、リーダーシップを発揮して、将来を担う子ども一人一人が世の中に出たときに、それぞれの立場で社会に貢献し、自分も他の人も幸せになれる世の中を創っていけるよう、教職員一体となって教育活動に取り組んでいただきたいと考えています。

2 学力保障及びGIGAスクール構想について

未だ新型コロナウイルス感染症が収束しておらず、今後も先行きが見通せない日が続きますが、その時々レベルに応じて、各学校では様々な対応を丁寧にしていただいております。改めて感謝申し上げます。そのような中ではございますが、子どもの学力保障等について、今後もよろしく願いいたします。

今年度は、岡山市学力アセスが小学校第2学年からの実施となり、学力調査に加え、学習・生活状況等に関する質問紙調査 i-check を行い、学力調査と i-check の分析・活用が授業や学級経営等の充実・改善につながっていくようお願いいたします。

また、GIGAスクール構想2年目となる今年度は、授業等において、さらに効果的なICT活用を進めていただきたいと考えております。そして、端末の持ち帰りによる家庭学習での活用、またオンラインを活用した個に応じた支援の充実など、一人一人の子どもに対して、個別最適な学びを展開できるよう、取組を進めてまいります。そのために、教育委員会としても、できる限りの支援をしてまいります。

3 特別支援教育等について

特別支援教育については「インクルーシブ教育」の実現を目指します。各学校でも引き続き、すべての教職員が「障害のある子どもと障害のない子どもが、できる限り同じ場で共に学ぶこと」の理解を深めたいと、インクルーシブ教育システムの構築を推進していただきたいと思います。

問題行動等の防止及び解決については、各学校で未然防止及び早期対応に向けて、懸命な取組を進めていただいていることに対して改めて感謝申し上げます。

一人一人の子どもたちにとって、学校が安心して充実した場となるよう、子どもの前向きな行動をしっかりと褒め、「命」「人権」に関わる言動に対しては適切に指導することを通して、子どもたちの健全育成に粘り強く取り組んでいただきたいと思います。

また、学校運営協議会、ホームページ、学校だよりなどにより、学校の取組を様々なツールを使って発信し、社会に開かれた学校づくりに励んでいただきたいと思います。

令和4年3月に策定しました第3期岡山市教育振興基本計画においても、岡山市の教育の理念の一つとして「人権尊重の理念に基づく教育の推進」を掲げています。

教育の基盤は、人権尊重が徹底している環境です。子どもたち一人一人が、大切にされていることを実感しながら生活し、自分とともに他者を大切にできる力を育むことができるよう、今年度も引き続き、教育活動全体を通じて人権尊重の精神に立った学習活動、人間関係づくり、教育環境づくりに取り組んでいただきたいと思います。

また、新型コロナウイルス感染症に関する人権への配慮について、これまでも繰り返し、教職員の研修や子どもたちへの指導を行っていただいているところですが、引き続き、教職員が人権感覚のアンテナを高め、正しい知識を基に、子供たちに対して適切な指導ができるよう全教職員で共通理解を図っていただくようお願いします。

一方で新型コロナウイルス感染症の感染に対する不安を持っている保護者も多いと思われます。各学校において「感染への不安」を理由に欠席している児童生徒や家庭には、これまでも丁寧に対応していただいておりますが、「何が不安なのか」「どういったことが課題になっているのか」「不安を解消するために学校としてどのようなことができるのか」といったことを共に考えるというスタンスで、引き続き関わっていただき、学校は安全なところ、安心して通わせることができるという思いを持っていただけるよう各学校での取組を工夫していただきますようお願いします。

児童生徒への手洗いやマスクの着用などの指導、感染対策を講じた学習活動の工夫、放課後や掃除時間を活用しての消毒作業など負担になることも多いと思いますが、当面継続するコロナ禍において、子どもたちが安心して通うことができる学校運営を引き続きよろしくをお願いします。

4 危機管理について

「子どもたちが、朝家を出て、学校にきて生活し、そして帰宅するまで、元気で無事にいてほしい」と考えるのは、保護者、市民の基本的な共通した願いであると思います。教職員の安全安心な生活についても同じことでもあります。

校長先生をはじめ、学校で生活する全ての方々安全安心がまずは基本であります。子ども一人一人が行うこと、一教職員が行うこと、学校全体で行うこと、地域や保護者と連携して行うこと、教育委員会と連携して行うことなど、学校で整理していただき、事件事故が未然に防げる、また仮に起きてもその対応に間違いがないようにと願っております。安全・安心という視点で、学校内外で気になる場所があれば、早めに手を打っていただきたいと思います。昨年4月1日から、自転車条例が施行されております。様々な場面を捉えて、子どもたちに安全への意識を高めることを啓発していただきたいと思います。

また、児童虐待を見つけることも危機管理の一つと捉え、虐待やネグレクトなどに対するアンテナの感度を高める取組を進めていただきたいと思います。

併せて、教職員の心身の健康管理も校長先生方が取り組むべき大きな責務であるのとらえ、十分ご留意いただきたいと思います。

5 服務規律の徹底について

岡山市では昨年度、これまで度重なる指導と研修等を行ってきているにもかかわらず、小学校講師の窃盗、小学校長の盗撮という2件の逮捕事案が発生しました。岡山市の教育に対する信頼を大きく損なうものであり、その信頼を回復させることは、我々にとって急務であります。とは言え、それは一朝一夕にできることはありません。先生方にはこれまでお願いしてきたことの繰り返しになりますが、各学校園におかれましては、引き続き、教職員が自分自身のこととして捉えることができる研修となるよう、様々な工夫をしていただきながら不祥事防止の研修や指導を重ね、教育公務員としての自覚の高揚を図っていただくよう、改めてお願いします。

4月20日には、不祥事防止に関する研修会を開くことになっています。そこでの学びをそれぞれの職場に必ず広げてください。また同時に、職場の同僚性を高め、上司、同僚間のコミュニケーションの充実を図り、お互いが相談し、支え合い、一人で抱え込むことのないよう、風通しのよい職場をつくっていただけるよう、ご配慮いただき、所属の教職員に一層のご助言やご指導をいただければと思います。

おわりに

最後になりましたが、校長先生方のお仕事は激務であり、特にコロナ禍によるプレッシャーで平素に増してストレスのたまる日々が続いております。くれぐれも健康には十分留意されまして職責を全うし、存分にご活躍くださいますことを期待してご挨拶いたします。

「カリキュラム・マネジメント」の充実を目指して Vol.2 冊子の内容を紹介します！

教育研究研修センターでは、令和2・3年度「カリキュラム・マネジメント」の充実を目指した研究を実施し、令和3年度の取組を冊子にまとめました。

POINT!

カリキュラム・マネジメントは**管理職だけが取り組むことではありません。学校の教職員全体で取り組みます。**

この冊子では、特に

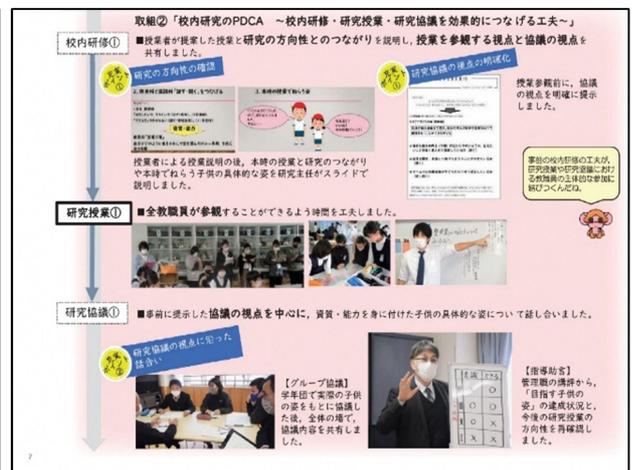
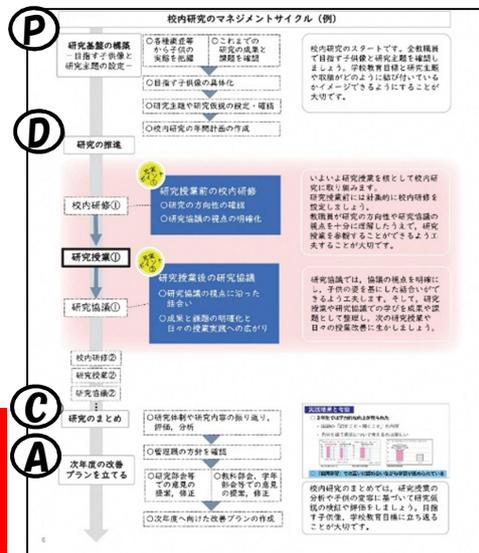
- 研究主任が校内研究に取り組む中でのカリキュラム・マネジメント
- 教員が授業づくりの中で行うカリキュラム・マネジメント

について詳しく学ぶことができます。



5ページから

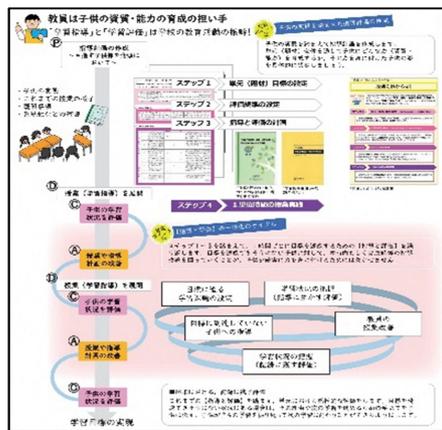
研究主任の一年間のマネジメントサイクルが分かります！



校内研究の進め方が具体的に分かります！



実際の授業を基にした指導と評価の一体化のサイクルが分かります！



11ページから

授業づくりの参考になるね。



校内研究を進める際や、授業づくりについて考える際にご活用ください！

冊子は、各校に1冊配付しています。また、C4th書庫>教育研究研修センター書庫>研究成果物 に掲載しています。

映像資料「先輩から学ぶ Vol.2」のご紹介 —特別支援教育の視点を生かした授業実践— —朝の会、給食など学校生活における指導や支援—

Chromebook
で視聴でき
ます。

①研修講座受講のためのアカウントとパスワード

(校長用) (副校長・教頭用) (一般教職員用) のいずれかを入力する。

②Classroom をクリックする。

③「先輩から学ぶ【映像資料】」のClass をクリックする。

④視聴したい項目をクリックする。

令和4年3月に映像資料「先輩から学ぶ Vol.2 —特別支援教育の視点を生かした授業実践—朝の会、給食など学校生活における指導や支援—」をClassroomに掲載しました。授業実践と学級経営の内容があり、各内容をそれぞれ10分程度で収録しているので、学びたい項目を短時間で視聴することができます。

授業実践

映像資料の視聴ポイント

《 特別支援教育の視点を生かした授業実践 》

「小学校」と「中学校」それぞれの実践例を収録しています。「導入」「展開」「終末」場面での支援の工夫や、担任の思いを学ぶことができます。「先輩にインタビュー」の映像もあり、子どもの実態に即した具体的な支援、一人一人を大切にしたい関わり方や環境づくりなどのヒントを得ることができます。

先輩にインタビュー 4月からこれまでの支援

- ① 4月当初の生徒たちの様子は？
- ② どのような指導や支援を行ってきた？
- ③ 学級経営で留意していることは？
- ④ 教室環境で配慮していることは？
- ⑤ 交流学級担任や教科担任との情報交換の方法は？
- ⑥ 今後どんな生徒になってほしい？

みなさんの学校だったら、どのように答えるか考えながら見てみましょう。

【実際の映像例】

学級経営



ごみ集め
(テーブルは集める場所の目印)

【実際の映像例】

《 朝の会、給食など学校生活における指導や支援 》

「小学校担任」の実践例を収録しています。「朝の会」「給食」「掃除」「帰りの会」それぞれの場面での指導や支援のポイントを学ぶことができます。

落ち着いた学校生活を送るために学級経営で大切にしたいこと、様々な学年・校種にも活かせるヒントを得ることができます。

映像資料「先輩から学ぶ —授業の基礎・基本—」もぜひご活用ください！

映像資料「先輩から学ぶ —授業の基礎・基本—」(DVD) は岡山市内全小・中学校に配付しています。(令和3年3月)

若手教員が授業や学級経営、子どもとの関わり方について具体的なイメージをもつためだけでなく、OJT等でも活用してください。

